

ハラルビジネスでニッチトップ戦略 ①

全世界に18億人とも言われるイスラム教徒のハラルマーケットは、輸出、インバウンド共に今後成長が見込まれます。一般社団法人ハラル・ジャパン協会の紹介により、ハラル認証を取得し、イスラム教徒向け水産物販売に取組む企業を連載で掲載してまいります。

FGROW JAPAN 株式会社

四国の最北端、庵治町で水産物を中心とした、そうざい製造業をやっておりまFGROW JAPAN
FOOD CREATE & MANUFACTURING COMPANYす。創業22年目、従業員は約65名で、海老の加工が得意であり、消費者の方に直接商品をお届けするネット通販事業もやっています。元々は藪水産という会社名でしたが、輸出強化等もあり、2023年3月、FGROW JAPANに社名変更をしました。食 (Food) 未来 (Future) フォーカス (Focus) これら3つの頭文字“F”をとり、食の未来と安心、幸せに焦点を当てて成長・発展 (Grow) するという思いを会社名に込めています。

【ハラル認証取得を目指したきっかけ】

食がグローバル化する中で、日本の水産物の需要はどんどん高まっています。海外の企業が日本の水産物をどんどん高値で買っている状況があります。海外での水産物の需要の高さと比べると、日本は食べ物が安い現状があり、食べ物が安いために、企業に利益が出なくなると、働いている人たちも幸せになれません。グローバルに事業を手掛けることで、今周りにいる人達も幸せにできるような環境をつくることに繋がると思い輸出事業を始めることになりました。その輸出をやる上で、衛生の規格が必要な国もあれば、宗教で分けられていることも気づきました。なるべく沢山の方に商品をお届けするためには、認証を取得する必要があると思い、その1つとしてハラル認証の取得をすることになり

ました。

【ハラル認証を取得する過程で大変だったこと】

割と短期間で取得に至ったのですが、その要因としてJFS規格を取得していたのとその上にハラルの規制を構築できたことがあげられます。あとは元々、水産物がハラルということもあります。認証取得に至り、一部の管理方法や設備的にコストがかかったというのがあります。これらは、これから世界に届ける為の先行投資だと思いました。今まで取り扱っていた商品が認証取得の為に取扱いできないということも出てきましたが、お客様に説明をして商品を切り替えたり、外注先に依頼をして今までと変わらず継続できるような取り組みも一部行いました。

【世界へ向けて、こういった方へ商品をお届けしたいか?】

弊社の行っていることは、「美味しい」や「便利」といった食を通じての「幸せ」の追求と提供です。食を通じて幸せをお届けということ、社会貢献をすることが弊社のビジョンです。日本人、海外の方関係なく世界中の人が誰でも、美味しいものを手軽に食べていただけるよう商品をお届けしたいと思います。その中で認証があることによって規制なく届けられたらいいなと思っています。“日本食を世界のスタンダードへ”という戦略を立て、できる限り多く、日本食の魅力をお届けできるよう力を入れていきたいと思っています。

